

# 山際塾長のこだわり教育論 11

## 「知力」「人間力」が決め手です

時代が難しくなればなるほど、人間は「知力」が決め手となります。それは、豊富な知識に裏打ちされた豊かな想像力や思考力、そして判断力や実行力などです。これらをまとめて「人間力」と表現されることもあります。

これからの子どもたちは、この激動の時代を乗り切っていくための「知力」をしっかりと身につけ「人間力」を養っていくことが非常に大切です。

子どもたちの未来を明るく希望にあふれたものにするためには、知力の開発・養成が不可欠です。学校や塾での勉強は、その基礎・土台づくりとなります。

勉強や学習は、受験のためだけ、というのではなく、人生においてずっと持続し積み重ねていくべきものと思います。

## 入試は通過点、新たなる挑戦への出発点

いま入試シーズンです。教室では、受験間近の受験生たちが連日熱気にあふれ、塾長はじめスタッフ一同が全員一丸となり、合格突破に向けての熱い戦いの真っ最中です。しかし勉強は受験で終わるわけでは決してありません。

入試は確かに大きな目標ですが、同時に通過点でもあるのです。

入試が終わると、誰もがほっとしたい気持ちになりがちですが、しかし実のところ、そこからが本当の勝負が始まると言っても過言ではないのです。

それに、せっかく志望校に合格できても、その学校の授業がよく分かり、好成績がとれて楽しい学校生活が送れるようにしなければ意味がありません。

未来教育やまぎわ塾では、「受験までのしんぼうだ。」「受験さえ終わればもう遊んでもいいぞ。」などという一部の進学塾で唱えられているような指

導は一切やりません。

私たち未来教育やまぎわ塾では、反対に、生徒たちには、**受験は通過点であって、新たなる挑戦への出発点である**、ということを機会あるごとに話しています。

合格できるだけの実力を養成しているのですから、合格は当たり前、と私たちは考えています。

## 勉強の習慣を続けましょう

「受験が終われば全く勉強しなくなった」というのでは、いったい何のために志望校に合格したのか分かりません。

自分の向上と人間力の養成のためには、勉強の習慣を続けていくことが大切だと思います。